

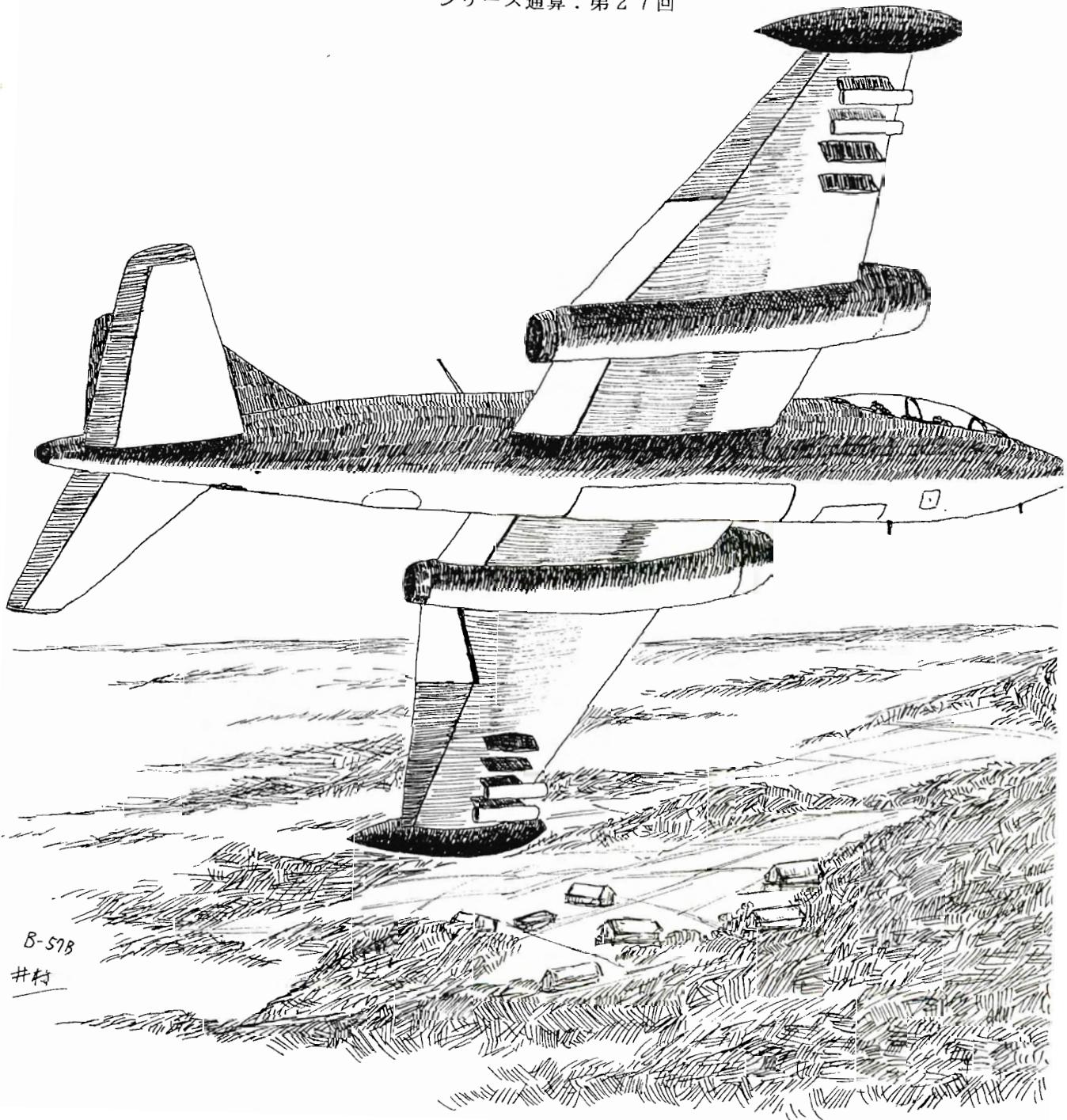
大 河 空 戰 P B M

# SONIC DIVER

第4回結果発表

(ゲーム時間: 1958年7月)

シリーズ通算: 第27回



☆戦果報告

《基地・日本》

ガルマン大佐：コタキナバル飛行場奪取は、予想外に損害を出したものの、概ね予定通り成功した。イエール空軍の防空部隊はかなり頑強だったからな。これからはここを橋頭堡に、敵首都サダティまで進撃を行なう。最終目的はイエールの無条件降伏、ないし地図上から「イエール」の文字を抹消することにある。

日本での戦闘は芳しくないぞ。札幌に続いて函館も陥落した。あそこは完全にダンケルク化しているぞ。苫小牧上陸作戦も、敵の規模が多くすぎ、かつ進撃速度が異常に速いため、中止された。情報では、ソ連軍は青森上陸に向けての準備を既に始めているらしい。日本軍は第二次大戦後いっぺん解体されて、今では面影もないほど縮小されちまってるからな、これで青森が落ちたら三沢が最前線となる。この三沢が落ちると、次は160キロほど南下した仙台まで、抵抗拠点になるものは全くない状態だ。

《空母アイゼンマオアー》

ウンケル中佐：日本の惨状を思えば、まるっきり詐欺だな、こっちは。何にもなかつた、と言って差し支えないだろう。事故って命を落とした不幸な奴もいるにはいるが……。あるいは、コタキナバルを突ついた陸上部隊の方で手一杯になったとも見られるがな。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体	
岬当麻	9 9	H nt	SHANGRILA	相原 一葉		2	0	7	3	准尉	軽傷	少破				
	0 1	H nt	Shoot	ブルーベイカー		1	0	6	4	准尉	生還	無傷				
	E 1	F 4 D	Z Z G	ルー・ルカ		0	1	5	5	1	7	大尉	生還	無傷		
	E 1	F 4 D	シルフ	ディードリット		0	1	5	4	1	7	大尉	生還	無傷		
篠原崇	0 2	G nt	虎の巻1号	一ノ丸 仙美									中尉	戦死		
	0 2	J 2 9	ハロ	フラウ・ボウ									中尉	戦死		
	0 2	J 2 9	笑う大天使	司城 史緒									中尉	戦死		
	0 2	1 1 9	傭兵隊長	ワレンシュタイン	0	2	1	0	5	少尉	軽傷	中破				
	0 2	H nt	ファルツ万歳！	マンスフェルト	1	0	6	5	5	准尉	生還	軽傷				
	0 2	H nt	ラフノールの鏡	アリン・フランス	0	0	1	1	1	准尉	生還	少破				
	0 2	J 3 2	北方のミルヴァ	クリステイ・アレキサン德拉	1	0	1	2	5	少尉	軽傷	少破				
				ベルフィービー				9	4	准尉						
	0 2	F 9 F	くいんまんさ♡	エルピー・ブル	2	0	4	7	1	5	中尉	生還	無傷			
	0 2	F 8 6	翠玉女伯爵	レジーナ・ブライス	3	1	3	8	1	3	中尉	生還	無傷			
井村和正	0 2	J 3 5	蒼い彗星	エル=ブライス	2	1	10	2	2	3	中佐	生還	無傷			
	0 3	1 1 9	ウルフパック	ビショップ							中尉	戦死				
	0 3	A D	—	フォルスター	0	5	2	6	4	中尉	軽傷	中破				
	9 2	H nt	—	ホームート	5	1	1	8	5	少尉	軽傷	少破				
	9 2	G 9 1	見敵必殺	メルダース	1	3	6	9	1	9	大尉	生還	少破			
遠藤誠	0 1	J 2 9	ムーン・グラス	トフト・ラース							中尉	戦死				
	0 1	J 3 2	Zauber	リュウ・ウェイ	1	0	9	5	5	准尉	軽傷	中破				
				アストール・ド・ウォーリック					3							
	1 1	F 9 4	慈雨	五島 三四郎	0	0	7	5	5	准尉	軽傷	少破				
	1 1	F 9 4	Zart Wind	望月 浩二	1	0	9	5	5	准尉	生還	無傷				
				ボールドウイン					3							
	9 1	J 2 9	アンサラー	楠木 京一							中尉	戦死				
	9 1	F 8 6	ベアトリーチェ	マクリーン・シーカー	3	0	3	1	6	中尉	生還	中破				
	E 2	F 9 F	メリーセブンⅢ	ジョン・シェンカー	0	1	2	3	5	少尉	生還	無傷				
	E 3	S v n	レセモーア	アンヌ・ブリリアン	0	1	1	3	5	少尉	軽傷	無傷				
				マチン・ルーサー				1	0	4	少尉	生還				

林孝始	0 1	J 2 9	TESTAROSSA	アンドレア・デ・ガリバルディ					中尉戦死	
	0 1	H n t	EXCALIBUR	アーサー・ラングレン	1	0	5	4	准尉生還無傷	
	0 1	G b n	S E I R E N	ルーフ・ラングレン	4	0	6 8	1 6	大尉生還無傷	
				クレイ・コリンズ		3 0		8	中尉	
	1 1	G n t	LION HEART	ナイジェル・ブースマン	0	0	1	1	准尉生還中破	
	1 1	2 2 9	Weisse Ritter	ラルフ・シュナイダー	2	0	1 3	4	少尉軽傷少破	
	1 1	H n t	流星	カオル・ヤギサワ	1	1	1 9	4	少尉軽傷中破	
	2 1	F 8 6	STORMY BLADE	ジル・グラスランナー	2	1	3 1	7	中尉生還無傷	
	9 1	J 2	雷神	リュウジ・ホリコシ	1	0	7	4	少尉軽傷少破	
	E 2	F 9 F	Kerberos	マーティン・オルズ	0	1	2 5	1 0	中尉生還無傷	
	E 3	A 2 D	TATSUJIN	デーモン・ブラッドショー		:			中尉事故	
菅原忠幸	0 1	J 3 5	昇竜	リュウ・シキフネ	5	0	143	2 6	大佐生還無傷	
	1 2	H n t	皇帝	カール・アルベルト	0	0	9	4	准尉生還少破	
	1 2	H n t	ビーナス	エンリコ・マリカーニ	0	0	2	2	准尉生還少破	
	1 2	F 9 F	人狼	キリーク・シマー	2	0	3 5	1 4	中尉生還無傷	
	2 2	1 1 9	人	ロン・シャオレン	0	2	1 2	4	少尉生還少破	
	2 2	A D	王虎・キム	グン・ホー・キム	0	2	4 1	8	中尉軽傷少破	
	2 2	A D	王虎・メイ	ホー・ヒンメイ					少佐戦死	
	2 2	A D	ファイアーフロー	フィーデルファイア・カーマイン	0	1	4 5	1 1	大尉生還無傷	
	9 2	J 2 9	太平洋	ヒロシ・オオヒラ					中尉戦死	
	9 2	F 8 4	プロティア・スピリット	ウイリアム・ジェームス	0	4	6 2	1 2	大尉軽傷少破	
木村博昭	0 3	F 9 4	モーリントン	カルナーカ・ホルン	1	0	7	4	准尉生還無傷	
	2 1	S v n	ベルニーギ	モーリン・ハット ホワイトニー・ハルム パゼット・ロット		6		3	大尉戦死	
	2 2	A D	スチューター	セシル・ヒューストン	0	2	1 6	4	少尉軽傷少破	
	2 3	F r b	死神	ロイヤー・ナスバル	0	2	1 4	4	少尉生還無傷	
	2 3	F r b	ピューリタン	ポール・オフレイド					大尉戦死	
	E 3	F 9 F	メガトン・パンチ	西島 義人	0	1	1 7	4	少尉生還無傷	
赤木崇敏	2 1	J 3 2	Aria	アウグスト・シュレーゲル カール・シュレーゲル	1	1	1 4	5	少尉軽傷少破	
	2 1	J 3 2	Impromptu	アルフレッド・ティルピツ					大尉戦死	
	2 1	J 3 2	Overture	ルドルフ・ヒルファーーティング カール・ウェーバー フレデリック・ヘーゲル					中尉戦死	
	2 1	J 3 2	Prelude	オットー・ブルンフェルス ウェルナー・ブラウン	0	0	1 0	5	少尉軽傷中破	
	2 1	A D	Capricco	クロード・ベルナール	0	3	2 5	3	中尉生還無傷	
	2 1	A D	Chorus	ルジアン・フェーブル	0	2	1 9	3	少尉軽傷少破	
	2 3	1 1 9	2=鎌倉幕府	チュアン・マクガイア	0	1	1 0	5	少尉生還少破	
日高耕	2 3	J 3 2	グラマリエ	グウェンディロン	0	0	1 9	5	少尉軽傷中破	
	2 3	F 9 F	ノイン・グロース・ファルケ	ウォルフ・ガング・レオンハルト	2	0	2 3	7	少尉生還無傷	
	2 3	A D	フェス	ロッド・ギャロウグラス	0	2	1 9	5	少尉軽傷少破	
	0 1	G n t	イリス	木下 藤吉郎	1	0	4	3	准尉生還少破	
炭谷英範	0 1	G n t	エルトリニアス	神奈月 京子	1	0	4	3	准尉軽傷少破	
	0 1	G n t	ソルト	田沼 沖次	0	0	3	3	准尉生還無傷	
	0 1	G n t	ナリス	成田 進	0	0	2	2	准尉生還無傷	

☆申請機の略号

A 2 D…A 2 D-1 スカイシャーク 229…H o 229 A-0

☆申請機の価格

229…2000zg

☆機材更新

「標準機種」をナットからハンターに振り替えます。これに伴い、ナットの価格が3000zg、ハンターの価格が2000zgに変更されます。

突発性穴埋めコラム

近代兵器概論

本居こじ

やあ皆さん、私の研究室へようこそ。今回はSAMについて。

SAM、地対空ミサイルの歴史はWWⅡドイツのヘヒト（肉食淡水魚）に始まった。1941年のことである。しかしながら、これは研究開発の段階にとどまった。現在のSAMに直接つながると思われるものは、1942年冬に開発が着手された、V2ロケットをベースにしたバッサーファール（滝）だろう。当時のミサイルのご多聞に漏れず、これもラジコンロケットの域を出なかったが、既に赤外線誘導やセミアクティブホーミングに近い形式のものまで計画されていたというから、大したものである。しかしこれも、お馴染みヒトラーの思い付きによって量産化を阻害され、大した数は配備されずに終わった。直接イギリス本土を叩けるV2の方が、魅力が大きかったのである。ドイツ本土が連合軍機の空襲にさらされるようになって、初めてバッサーファール量産へと180度方針転換したのだから、呆れるにも程がある。その他シュメッターリンク（蝶）、ライントホター（ラインの娘）等数種があるが、どれもこれも上層部による無理解と空襲による物資欠乏のため、実戦化されることとはなかった。

さて、このドイツの技術で得をしたのは、お約束のアメリカとソ連である。このうち忠実にバッサーファールを手本にしたのがソ連で、SA-2ガイドラインは有名である。アメリカのSAMは最初二つのグループに分かれていた。一つは無人迎撃機とも言うべき有翼ミサイル、もう一つがいわゆるSAMである。このうち有翼ミサイルはただ一種ボマークが採用されたのみだった。平面形はまるきり戦闘機のような形状の（大きさはF-104とほぼ同等）それは核弾頭を装備し、「大西洋を渡ってくる」ソ連軍爆撃機を待ち構えていた。が、やがて、SAMの性能も向上し、有人戦闘機の方がコストパフォーマンスに優れることが判明、1970年初期にはボマークは全機退役、標的機となった。なお、イギリスでもボマークを小型化したようなサンダーバード、ブラッドハウンドを生産したが、結局主流とはならずに終わった。

ロケット技術、誘導システムの改良につれてV2型のSAMの性能も向上した。米軍の第一世代はエイジャックス・ハーキュリーズ・スバルタン等のナイキ・ファミリーである。このうちハーキュリーズは自衛隊でも使用している。（現在パトリオットに転換中）大戦略でも有名なホークが開発されたのは1954年、現在使用されているそれは改良型だが、それでも実に40年近い歴史を持つわけで、驚きに値する。

携帯式SAMは、米軍については1968年に実用化されたレッドアイが知られている。これと同時期に現われた「類似品」がソ連のSA-7グレイルである。レッドアイは目標機の排気口が通過しないと発射できないという欠点はあったが、前線部隊の防空力強化という点では大進歩だった。その欠点を改善したのが、有名なステインガーとなる。ステインガーには敵見方識別装置、紫外線シーカー、炸薬量増加など、全面的に威力増強が図られた。

艦対空ミサイルは、また回を改めて解説することとする。

☆戦果報告

オイラー大佐：対ゲリラ戦部隊の戦況は一進一退といったところで、全体的にはあまり芳しいものではない。また、連中は自走対空砲を手に入れたようで、被弾損失率が以前より上がってきてている。多分正規軍から流れたM42ダスターだろう。南部方面軍の裏切り問題については結局うやむやのままだ。状況がここまで悪化してしまっては、もはやそんな事はどうでもいいようになってしまったからな。

コタキナバル防空戦では、我々も善戦したが、結局敵の侵攻を許す結果になった。しかし本土での地上戦なら、圧倒的戦力を持つ我々の方に分がある。地理感覚、補給、増援と、全て我々に有利だからな。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体
笠原和子	9 0	M t r	アルコール・ラザースco.	W. モスコミール									中尉	戦死	
	9 0	M t r	アルコール・ラザースco.	レミー・マルタン									大尉	戦死	
	9 3	H u r	B R I T I S H	C. モカ	0	3	3	6	4	中尉	生還	少破			
	V X A U	Gin Fizz		G. ビーフィータ	0	0	1	0	1	少尉	修了				
正宗征士	9 1	F 8 0	KOREA BOMBER	チョー・プサン						中尉	戦死				
	9 1	F 8 0	KOREA BOMBER	イー・オーサン						中尉	戦死				
	9 1	F 8 0	KOREA BOMBER	キム・クンサン						中尉	戦死				
	9 1	F 8 0	KOREA BOMBER	リー・ウルサン						中尉	戦死				
吉楽征二	9 0	M t r	—	K. ゲルハルト						中尉	戦死				
	9 0	F 8 0	—	K. スレッグ						中尉	戦死				
	9 3	1 1 0	—	吉田 剛	0	3	1	9	3	少尉	軽傷	少破			
				上杉 建男					7	1	准尉				
下永弘典	9 3	M r d	ポンジュール！	ラース・レダ	0	4	3	8	4	中尉	軽傷	少破			
				グエン・キン					2	8	3				
	9 0	M t r	クリームヒルト	エルнст・ベーリンガー						中尉	戦死				
	9 0	M t r	バルバラ	ダーヴィド・ラッセン	0	0	4		3	少尉	重傷	撃墜			
	9 3	H u r	C - Thunder	ロドス・ザルカム	0	5	2	0	2	少尉	生還	少破			
	9 3	A U	ユリウス	レオニード・ユースポフ	0	2	2	0	4	少尉	軽傷	少破			
山田国見	9 3	A U	D - B last	ユーリイ・ロマノフ	0	2	1	6	4	少尉	生還	無傷			
	V X A U	E - Shoot		ウイスカー・オーゼル	0	0	1	0	1	少尉	修了				
	9 2	F 8 4	Thunder Bolt	オマール・ハイям	0	5	3	5	5	中尉	軽傷	少破			
	9 2	B 2 6	Ghost Mk II	ジェラルド・グラウビッシュ						大尉	戦死				
				ウォルター・スコット											
	9 2	B 2 6	Sniper	アレクサンデル・クレメンス									少尉	事故	
				グレゴール・ライシュ											
	9 2	B 2 6	Vampire	イエスター・ベルリング											
				レオポルト・イエスナー											
	9 2	I 1 2	T reant	ニコラス・ワイスマン	0	2	2	5	5	中尉	軽傷	墜落			
				トーマス・アクイナス					2	3	5	少尉			
	9 2	B 2 6	Vampire	ジョン・ホワイトハースト											
				フィーローズ・シャー	0	5	2	5	3	中尉	生還	無傷			
				レオン・ブルームハルト											
	9 2	B 1 N	Awkwardness III	カール・ドルス	0	3	4	7	7	大尉	生還	無傷			
				ヴァイン・シュトライザー					7	1	准尉				
	9 3	H u r	Wraith	ジェームズ・キングズベリ	0	5	1	1	1	少尉	生還	少破			
永山真時	V X A D	Mermade		キャロル・グラック	0	0	4	5	6	大尉	修了				
	9 0	F 8 0	カグラ・ルーキン	ステイン・ナイン	0	0	5		4	中尉	戦死				
	9 0	F 8 0	リラーナ・ドーテ	デルバル・モン・クリスト						准尉	軽傷	中破			

	9 2	H u r	モー・ナル・マトリクス	ザガイガソ・リルディ・ムーン	0	4	1 6	2	少尉	生還	少破
	9 2	A U	ギルダル・ムーンナル	カイザン・デオ・シャイカ	0	2	1 1	5	少尉	生還	少破
	9 2	A U	ズイエン・マル・ゾーラ	ナール・アリー・ガウディ	0	1	1 4	4	少尉	軽傷	少破
	9 2	A U	ラジ・ドアー	テバルカン・ジーゾウ					中尉	戦死	
	9 2	T y p	リーグ・ヴァジューム	テラルム・ハン・コンティ					大尉	戦死	
	9 3	A U	アビ・エル・ドーテ	テギル・ニカーン	0	1	2 3	5	少尉	軽傷	少破
	9 3	A U	ムーン・ドーテ	ショマソ・ガーニエ	0	1	2 5	5	中尉	生還	無傷
	V X	F 9 F	ゴーラ・オーム	ゴカル・バギト・メールバーテン	0	0	4 5	4	大尉	修了	
横山友紀	9 3	F 8 0	WILD CAT	S I R E N	0	1	4	2	准尉	生還	少破
和田保繁	9 2	F 5 1	マタドール	ロベルト・ラパス	0	2	1 1	3	少尉	生還	少破
	9 2	F 5 1	ミストラル	ミシェル・カールソン	0	1	7	3	准尉	生還	少破
	9 2	B 2 6	向前!!	李 大進 金 目当					大尉	戦死	
	9 2	B 2 6	シュツルム	カール・ピットナー ヨアヒム・ショレッサー	0	3	1 3	3	少尉	軽傷	少破
								1 0	2	重傷	

### ☆申請機略号

I 1 2 … I 1 - 2 m 3 シュツルモビク T y p … タイフーン Mk I B

1 1 0 … B f 1 1 0 G - 4 M r d … B - 2 6 G マローダー

B 1 N … ポートウール II - 1 N

### ☆申請機価格

M r d … 6 8 0 z g B 1 N … 改造費用 3 0 0 z g

### ☆機材更新

F - 8 0 C を除籍し、M i G - 1 5 bis をこれに変えます。従って今後イエールの「標準機種」は、M i G - 1 5 となります。価格は 1 8 0 0 z g に値下げされます。

## 次 回 の 作 戦

### 《イザベリア軍》

ガルマン大佐：まず日本派遣部隊だが、9 9 独飛は正規軍の精銳第 2 飛戦と交替、本国に帰還する。…喜ぶのは早い。そのままコタキナバルに行って基地の確保に努める。主に対地支援任務である。

7 1 ・ 7 2 飛戦はそのまま居残って対ソ戦を継続する。そろそろ敵の補給線も伸び切る頃合いだが、まだまだ油断はならない。プラウダの記事では、連中は東京に赤旗を立ててやると抜かしているからな。

ケソンにいる 7 0 飛戦はコタキナバルへ移動、そこで対空警戒に就いてもらう。敵がミグを本格的に使用し始めたという情報も入っている。気を引き締めてかかるように。

### 〈空母アイゼンマオアー〉

ウンケル中佐：我が艦隊はこのまま南シナ海に居座り、コタキナバルにいる友軍を側面から支援する。ただそれだけの任務だが、サンダカンから敵の艦隊が出張つて来る確率は限りなく 1 0 0 % に近い。用心棒に大和級戦艦 1 隻を含む艦隊が回ってきたが、我々も充分な警戒を怠らないように。なお、他の正規軍艦隊は日本へ移動、太平洋の海上封鎖はイギリス海軍が引き継いだ。

☆部隊編成

〈三沢〉

飛行第71戦隊〈迎撃〉

第1中隊…第1波 第2中隊…第2波 第3中隊…第3波

飛行第72戦隊〈対艦／対地攻撃〉

第1中隊…第1波 第2中隊…第2波 第3中隊…第3波

〈コタキナバル〉

飛行第70戦隊（対空哨戒）

第1中隊…第1直 第2中隊…第2直 第3中隊…第3直

独立飛行第99中隊（対地支援）

〈空母アイゼンマオアー〉

第1飛行隊…艦隊防空 第2飛行隊…コタキナバル対空哨戒

第3飛行隊…コタキナバル対地支援

《イエール軍》

オイラー大佐：我が軍がその本領を発揮する時が、いよいよやって来た。今回我が義勇飛行隊は、全てサンダカンを拠点に行動する。対ゲリラ戦など冀喰えだ。新兵の実戦訓練用にでもくれてやれ。93RWの諸君は、特にその慣れを活かして兵員、トラック等を殲滅してもらう。92RWは逆に、対空砲や戦車などを潰してもらう。腐れきった資本主義の手先どもに、「戦争」を教育してやれ！

〈空母ストロワヤ〉

マイヤーズ中佐：義勇飛行隊の諸君、我が空母ストロワヤにようこと。第二次大戦後にモスボールされた、ほとんどそのままの状況で復役した本艦ではあるが、旧きものを頭から軽蔑するのは資本主義の悪しき傾向だ。

さて、本艦はこれから一ヶ月ほど、乗組員の習熟を兼ねて南シナ海へ出て、中国人民海軍の協力の下、離着艦訓練を行なう。陸でやっていたときと滑走路の長さは変わらないが、海の上では小さく見えるものだ。事故は可能な限り防いでもらいたい。また、この間に同居する正規軍との相互理解も深めてもらいたい。

なお、我がVXは他の飛行隊からの参加はいつでも歓迎している。逆に、前回訓練に参加していた者は、今回も参加することが義務付けられる。

★部隊編成

〈サンダカン〉

90RW（コタキナバル制空）

901RFIS…第1波 902RFIS…第2波 903RFIS…第3波

91RW（92・93RW護衛）

911RFES…第1波 912RFES…第2波 913RFES…第3波

92RW（コタキナバル攻撃）

921RFBS…第1波 922RFBS…第2波 923RFBS…第3波

93RW（コタキナバル攻撃）

第3波地上攻撃隊…兵員・軽装甲車などソフト・ターゲットを専門に攻撃

※90RWの行動は、必ずしも91・92・93RWの行動と同調するとは限らない。

〈空母ストロワヤ〉

VX（艦上習熟訓練）

※前回参加していたキャラは、VXに属さなければなりません。

# REST TIME

ACT. 26

## N O T E

※今回の参加・投稿物締切りは9月15日(必着)です。

### 今月の動き

○1958年7月31日の「朝日新聞」：北海道に上陸したソ連軍は一ヶ月で北海道のはば全域を制圧した。現在は函館から青森に向けて上陸作戦を展開する構えを見せている。政府は被害を抑えるため、本日付けで青森県全域及び岩手県北部を警戒区域に指定、青森県民には避難命令を発令した。

○同日の「ダラス・クロニクル」：合衆国政府は本日、ソビエト大使を通して「極東における軍事行動を速やかに停止し、日本との国境線を旧に復さない場合、最終兵器による攻撃も辞さない」と正式に警告した。

○8月1日の「ニューヨーク・タイムズ」：国連は緊急安全保障会議でソ連を「侵略者」と認定、戦闘状態にある日本の東北地方に国連軍を派遣することを決議した。これに際し、現在現地にあるイギリス軍、アメリカ軍、イザベリア軍は暫定的に国連軍に指定された。

○同4日の「プラウダ」：我がソビエトの極東における世界革命闘争は、日本の北海道を占領することで第一の目的を達成した。この闘争は最終的には東京とソウルに共産党旗が立ち、極東に社会主義が建設されるまで、終わることはないであろう。

○同10日の「サンフランシスコ・デイリー」：合衆国政府とイザベリア政府は9日、新品のB-52D二十機をイザベリア海軍が購入することが決定したと共同声明を発した。この見返りに合衆国は何を得るかについては、両国スポーツマンは「ノーコメント」の立場を取っている。

○同日の「シカゴ・トリビューン」：合衆国政府は本日、現在開発中の超音速爆撃機ノースアメリカンB-70の計画に、イザベリア国立航空工廠が参加するのを認めたと発表した。イザベリア海軍はB-52の後継機としてB-70を導入する計画を既に公表しており、今回の合弁計画はB-70にイザベリア側の要求も反映させる目的もあると見られる。

### Q & A

Q1：例えば対地ミサイルとナパームを装備していたときの対地攻撃の戦果は、いったいどちらの兵装のものなのか？

A1：この計算は、次のように見ます。

例：ブルパップ2発とナパーム2発を積み、戦果3だった場合

報酬の計算ではミサイルによる戦果を優先して、ミサイル2発分のボーナススコアを得ます。残り1発分がナパームの戦果と見做されます。これは実際にブルパップが命中したかどうかには左右されません。

報酬計算以外では、「何が命中したのか」というファクターは関係ないでしょう。折に触れて言ってきますが、「そんな細かいシステムではない」ので、上の例でもミサイルは全部当たったかもしれないし、逆に全部外れたかもしれない。それでも、ミサイルを持っていったというハンディ（！）でその戦果を挙げた、ということに報酬が支払われる、と解釈して下さい。

Q 2：対地ミサイルというのは機体リストからすると搭載力に余裕があれば積載できるのでしょうか？

A 2：その通りです。

Q 3：日本軍のF S Xはどっちですか。私はデルタ翼の方を出してほしい。F-16改は嫌い。

A 3：私はデルタ翼もブレンデッド・ウイングも嫌いなので、どっちでもいいやと思ってます。でも手許にデータがないので、16改になるでしょう。データさえ揃えば、両方出しても構いませんが。あとはボムコミックに出てた、フランカーもどきの艦載機も出したいですね。四八艦戦。SKY GREYのF2-Aもいいなあ。

### Voice of 参加者

『次はベトナムですか？うーん、「スピードのお化け」と言うと何だろう？もしかしたら「ブラッ○バード」かな？高いって言うから「スターファ○ター」じゃないし。あの頃の飛行機って、F-4しか知らないんだよなー。（あの、ミサイルがなくなったら、「ハイ、おしまい」って奴）でも湾岸戦争は時代的にかなり無茶があるような。やるんだったら、別設定にしないと。それよりも、その前に、いろいろな理由で打ち切りになったりして。

ところで、最近のSDってイザベリアvsイエールと言うよりは、イザベリアvsソ連・中国と言う感じがするのですが、これって私の単なる思い違いでしょうか？

（イザベリア・東京都・遠藤誠）

『ま、いずれわかることですが、「○-○2A」と「MiG-○○」です。少なくとも偵察機はないわけですから、SR-71は出ませんよ。戦略爆撃機もないのでB-70も正規軍にしかないし。イザベリアvsソ連の問題は、当時の情勢がやはりそうだったから、なのです。そう言ってしまうと元も子もないのですが、モスクワはなるべく衛星国それ自体の軍隊は最低限に抑えて、ソ連軍で防衛と統制の両方をやろうとしてましたしね。

でも、「F-1○○」の武装がファルコン4発だけだったって、みんな信じられます？

『イエールはジリ貧だなあ。所属部隊も選ぶほどないし任務も防空とゲリラ掃討のみだし。うう、なさけないなあ。戦況も現時点では押されているし。これで復役した空母がすぐ沈んだらおもしろいだろうな。』  
（イエール・福岡県・下永弘典）

『今回イザベリア軍がイエール本土に侵攻したので、対地部隊にもまともな（と言うと語弊がある）仕事が回るようになりました。予定ではイエール空母が日本近海（玄界灘あたり）に進出するかも知れないので、母艦シナリオもそれなりに変化に富んでくるでしょう。……イエールが押されてるのは、これはもう仕方ないですね。現状では。でも空母がすぐ沈んで面白いか……な……？

あ、そうだ。余談ですが、イエールの空母3隻は、すべて甲板が直線型です。第二次大戦当時のように、飛行甲板が長方形になっているのです。カタパルトは油圧式。

イザベリアの空母は、国産艦は全て甲板が右側へ開いています。アメリカの現用空母と左右まるつきり逆になっていると思って下さい。

『最近SONIC WINGSの方は、提督が使えないと言ってたトーネード爺さんを使ってます。結構サブウェポンのナパーMディスペンサーがつかえるんですよ。4面のボスなんかボンバーなしで倒せるし、日本面のボスもレーザー吐く前に倒せます。スピードも、確かに遅いけどハリアーほど酷くないし。今んところ6面（モスクワ）までこれるようになりました。5面で結構引っ掛かるけど。

ところでこのゲーム、実は一番使えるのがビゲンなの知ってました？ショットのパワー、フルパワー持続時間、自機のスピード、ボンバーの破壊力（緊急回避にも使える）、当たり判定のバランスが一番いいんです。こいつとトーネード、そしてF-18が私の愛用機。いまんところはビゲン、トーネードで6面まで、F-18では5面までが自己最高記録。まおはスピードは速いけど（速すぎて自分から突っ込むこともしばしば）ショットパワー（ノーマルショット）は低いし、レーザーの破壊力は凄いけど持続時間が最低だし（なんてったって、たったの10秒！）ボンバーが金縛り型だから敵にほとんどダメージ与えられないし。私から見れば、今イチなんです。 （イザベリア・神奈川県・林孝始）

『それでも私は真尾まお！アメ公は嫌いだし、ロボット操縦あまり好かないし、爺いがトーネードを飛ばすのもギャップを感じるし……と消去していくと、結局まおちゃんしか残らない。あるいは栗田はるながオーバーラップしてるのかも知れない。はるなのイーグルは赤じやなくて、エアクラフトグレーだけどね。

あとSWⅡとか言ってイタリアのG91とスターファイター、ドイツのEFAとF-4辺りが出てくると面白いなあ。……あ、CISのファルクラムとフロッグフットが入ってもいいか。シャンソン野郎は嫌いだから要らない。

### 「Blowers」関係の告知

※11号が9月末ごろ発行されます。いつも通りの300円小為替+175円切手です。

### 編C後記

菊：「紅の豚」見てきました。さすがは宮崎映画！さすがはモデグラ掲載作品！も一芸の細かいの何の。見てて鳥肌が立つこともしばしば。行ってよかったです！

岬：バイト多忙につき、不覚にも「紅の豚」「サイレントメビウス」「アルスラーン」「風の大陸」「パトリオット・ゲーム」その他諸々を全て見損ねました。がっでーむ！

笠：麻美と一緒に「紅の豚」を見てきましたが……果たして、何が面白いんだろう。魔法でブタになったパイロットがいて、ファシスタの追及を逃れて、アメリカ人と空戦して、最後に殴り合いになって、んでおしまい。終わり方も宮崎作品にしちゃヅツ切りでクライマックスに欠けるし、……ハテ面妖な……。

宇：「紅の豚」は、ポルコの渋さが決め手です。西部劇の主人公のそれにも似た、「分厚い」キャラクターと、動画、声優の名演が……いや、細かいことは何も言わない。

「じゅるじゅるモンですぜ、ダンナア！」

# 榛名とはるな

本居こじ・作

ACT. 11 The omen.

学期末試験の最終日、その試験をすべて終えた榛名は、椅子で伸びをうちながら、大部分の生徒たちと同じ様にこう言った。

「あア、終わったア！」

そして、彼女の場合はいつも「これで艦に戻れる！」となるのだが、この時は違った。

「栗田さん」

変に威圧的に名を呼ばれて、榛名は伸びを中止して目を開いた。冷たい顔が、声のした所にあった。

「何か？」

「風紀委員会で、あなたに尋ねたい事があります」声は至って事務調だった。榛名がチラと見た学年章では、彼女たちは高2だった。「終礼終了後にすぐ、風紀委員会室に来るよう」

「風紀？」榛名は言い返した。「私、何かしましたっけ？」

しかし、結局答えは得られなかった。担任が終礼で入って来たのだ。

「あたしら、風紀に呼ばれるような事何かしたっけ？」

「さあ？」

榛名は、自分の副官を最初の艦長時代からしている南雲に、終礼直後尋ねてみたものの、かく的を得た答えは得られなかった。但し、続いてちょっとした情報を得ることができた。「最近、歳不相応に戦績の高いのがよく風紀に呼び出されて、嫌味をたらたら言われるらしいよ」というのが、それである。一応榛名は心に留めておくことにした。

「艦隊指揮権を預けるわ。沿海のどこかに出しておいてちょうどいい。……遅れて行くから、如月の船だけ残しておいて」

榛名は、南雲にそう告げると、教室を出た。

「11分の遅刻」

入るなりに言われたその一言で、榛名はその後の進行を予感した。これは、はじめ思った以上にやり辛い相手になりそうである。とにかく、しばらくはおとなしく様子を見る事にすべきだ、と彼女は思った。

「はあ、そうでしたか」

わざとのんきに答えながら、何気無く榛名は室内を見回した。わざとカーテンを締切り、蛍光燈も数を減らして暗くしてあるのは、私に心理的に引け目を感じさせるためだろう、と榛名は直感した。そしてその室内には、机が20個、榛名を3方から取り囲むように並べられていた。その机には、10名前後の女子生徒たちが座っていた。彼女たちはみな、風紀委員章を胸に付けていた。

「これがうわさの説教室ですか……」彼女は無感情に言った。「何か私がしましたか？」

「……栗田、榛名さんね？」中央の一人が落ち着いた、しかし威圧感に満ちた声で尋ねた。

「あなたは先月から艦隊の司令になったわね？」

「はい」

「その前はただの駆逐艦1隻」

「はい」

「いきなりそんな大きなものを動かすようになって、大変じゃありませんこと？」

「いえ、別に」早くも榛名には嫌気がさし始めていた。「基本は変わりませんもの」

榛名は、空母1隻を中心とする艦隊を預けられていた。米海軍CV「SCB-125A

改修型エセックス」型空母がそれである。艦長になった南雲はその空母を「信濃」と名付けた。搭載機はF/A-18Aホーネット二十機、E-1Bトレーサー二機、S-2Fトランカーニ機、そしてSH-3Hシーキング二機。一応空母戦力としての基本だ。

今回の配置換えは、男女対抗戦での成績を参考に行われた。しかしここで、奇妙な現象が発生した。前線に立ったものよりも、後方で防戦にまわったものの方がポイントが高かったのだ。前線にいたものはそれだけの自尊心を傷つけられたわけで、多分そこを付いてきたわけだ、と榛名は判断した。

「尋問」はその後も、過去の事例の確認が続いた。過去の成績について、定期テストレベルでいちいち科目ごとに挙げられるのには榛名もさすがにうんざりしたが、戦績の方については——成績も充分なほどだったが——、まったく恥じ入ることは無かった。

しかし、最後の一言が、彼女を当惑させた。

「少し勝ちすぎじゃありませんの？」

「はあ!?」

「南雲先輩！」不安を顔中からあふれさせて、永野が「信濃」の艦橋へ飛び込んできた。榛名にとって具合の悪いことに、彼女は「信濃」の艦載飛行隊に配属されていたのである。

「栗田先輩が風紀委員に呼び出されたって、本当なんですか!?」

南雲は小さくうなずいた。永野の方は見ずに、ただ艦首の方をじっと見たまま。

「……もう……どの辺まで伝わってる……？」

「もう、『信濃』の飛行隊はみんな……」永野の声は気のせいか震えている。「他の船の方はよく分からないけれど……」

「そう」

「南雲先輩」航法担当の魚津が、ふと海図から顔を上げて言った。「何で栗田先輩を待たなかつたんです？」

「榛名がそう言ったの」南雲はそこで一度溜息をついた。「まどかの船残して沿海に出てろって」

その時、通信担当の舞鶴が割り込んだ。

「南雲先輩、栗田先輩がF-15で来ます」

「妹の方？」

「はい」

「F-15じゃ空母に降りるの無理よ！」南雲は飛行甲板側の舷窓へ走りよった。「それを知らない訳じゃないでしょに!?」

「いえ、通信筒の投下だけです」舞鶴は席に着いたまま、そちらを見ながら補足した。「何でも急ぎだそうで……無線だと傍受されてまずいらしいんです」

榛名は、額の汗を拭った。部屋が締め切られて空気が流れないからだけではなく、室内の環境自体が彼女を圧迫するような邪気に満ちあふれていたためでもあった。風紀委員の「質問」は延々と続いて、終わる予感をすらさせなかった。「質問」は事実上彼らの陰湿な嫌味と取ることも可能だった。

その「嫌味」の一つ一つは、彼女の「高すぎる」戦績に対する彼らの嫉妬として理解もできたが、それが1つにまとまった時の、この意味の無さといったら……！彼女は徐々にはらわたの煮えくりかえってくるのを感じた。こんな事はめったに無いことだ。

そろそろ堪忍袋も限界だ。こちらがキレ時だろう、と榛名は判断した。

「あのう」榛名は彼らの言葉が切れたスキを狙って、控えめに右手をあげた。「ちょっとよろしいですか」

「何か？」

「議長」と名乗った高2が、気取って彼女に発言を認めた。

「この呼出しには、一体何の意味が……」

「……相手は完全に黙り込んだ。」

「何の意味も無いことでしたら、私には御存知の通り、艦隊があります。彼らとの練習をしなくてはならないのですが」

取り巻く邪氣を振り払うように、リンとした声で、彼女は告げた。

「今後その件に関する発言は一切認めません」議長が冷たく言い返す。

「それでは先輩方は、私に何を求めていらっしゃるのですか」榛名は負けじと反論した。

「先程からの私に対する質問では、私の答えに、ひねくれたような否定的見解ばかりお示しになるではありませんか！……模範回答集があるならお見せ下さい！」

彼女にとって無限に思える間、榛名は、10名前後の相手と、同時にらみ合っていた。

議長がいう。

「今後栗田榛名の発言は、一切を認めません」

「何でまた」榛名が不敵にニヤリと笑う。「それでは民主主義の……」

「お黙りなさいっ！」議長がヒステリックな金切り声をあげる。

「それならいっそ、退場させやがれっ！！」

榛名は今や完全に爆発し、机を激しく蹴り上げて立ち上がった。立った勢いで椅子も倒れ、タイル張りの床で机と一緒に金属質の大音響をまき散らした。

「見るに耐えないし、聞くに耐えないっ！！」

「……これ以上はムダなようだな」突然、今まで無言だった、彼らの中で一番端に座っていた生徒が静かに言った。「……よろしい、行きたまえ」

榛名は一度全員をにらみまわすと、無言のままドスドスと足を鳴らしてその教室を出ていった。宇垣の影響を受けたかな。やや冷静になった榛名は、ふと、思った。

「遅すぎた……」回収された通信文に目を走らせると、南雲は力無く首を振った。「遅すぎたよ……」

生徒会と風紀委員の一部急進派が結託して、実力行使に訴えて模型部を無力化しようとしている。通信文にはそうあって、さらにこうつけ加えられていた。「榛姉もターゲットの中。気をつけな」と。

「南雲先輩、如月先輩の『ビーフリー』から入電です」舞鶴がそんな南雲を不思議そうに見ながら言った。

「何て言ってるの？」壁によりかかりながら、彼女は尋ねた。

「はい。栗田先輩を乗せて、今出港したそうです……先輩は無事だそうです」

艦橋の空気がいくぶん和らいだ。

「『ゴー・パンズ』にもにそれをまわして」安心した表情で、南雲は告げた。「シーキングを1機、迎えに出しましょう……イーちゃん、浜田を呼んできて」

「はい！」

榛名の無事がはっきりして幸せ一杯の永野は、喜んでそれに従った。

「榛名は飛行機嫌いだけど……」南雲は頭を搔きました。「ま、仕方無いわね」

\*

\*

\*

半ば蒼さめた顔で、榛名がシーキングから「信濃」の飛行甲板に降りてくるのを、南雲は意地悪げな笑いを浮かべて迎えた。

「何がおかしいのよ」榛名は恨めしげに彼女を見上げた。「私が飛行機嫌いなの知ってるでしょ？」

「早いとこ、こっちの指揮取って欲しかったのよ」南雲が肩を貸してやった。

(ACT. 11 了)

